

当社の現状と課題

岩手県交通株式会社

当社の概要

■乗合バス事業の現状

県内33市町村のうち57%にあたる19市町村（10市9町）で事業を展開。

盛岡エリア	6営業所	雫石・滝沢・松園・都南・矢巾・紫波
	1バスターミナル	大迫
県南エリア	8営業所	花巻・北上・胆江・江刺・遠野・一関・大船渡・釜石
	2バスターミナル	湯本・千厩

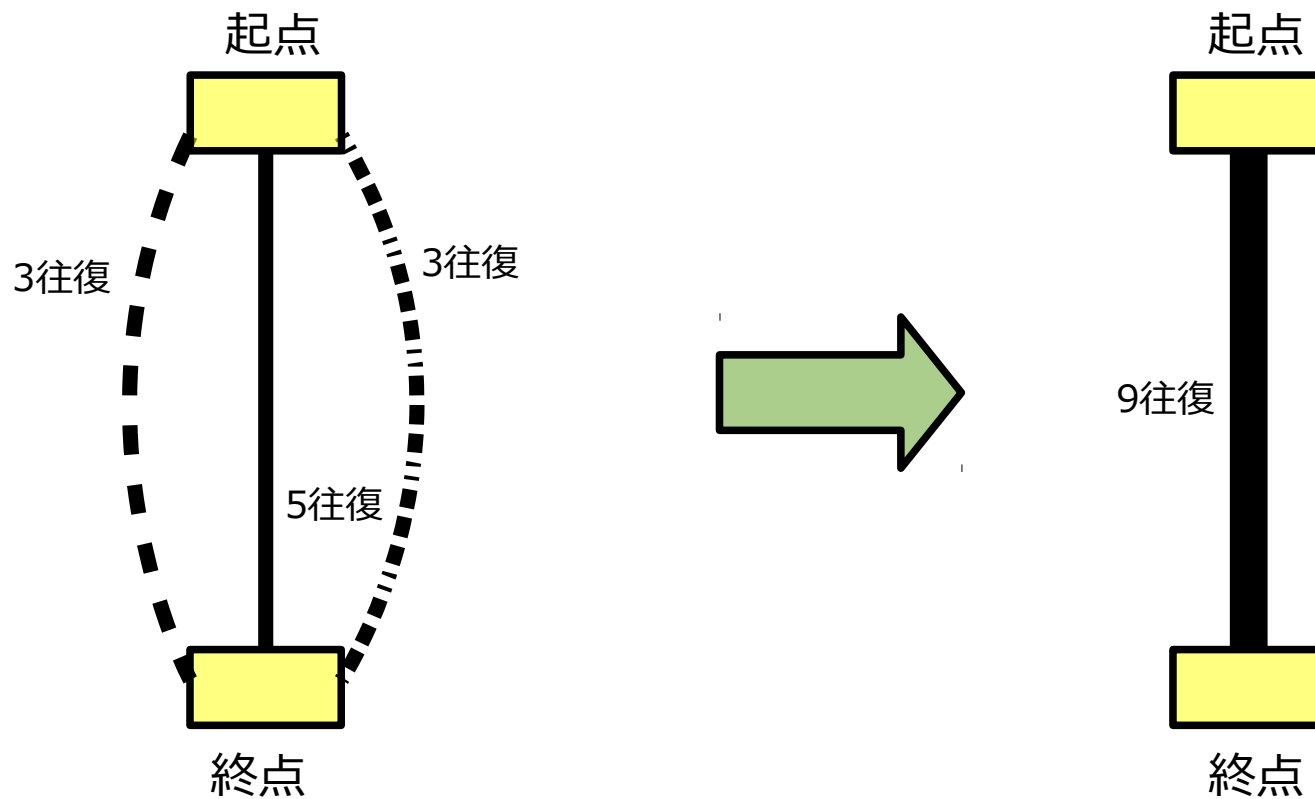
28年度事業実績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)	
免許キロ	3,400km
乗合保有車両数	492 両
年間走行キロ	21,717,620km
運行系統数	383 系統
輸送人員	19,825千人

公共交通・当社を取り巻く環境

- マイカー等の普及による交通手段の多様化
 - マイカー以外にもスクールバス、患者輸送バスの運行による利用者の分散
 - 人口減少、少子高齢化
 - 高齢者の運転免許返納率も増えてきているが、地方部において利用者の増加は構造的に見込めない。
 - 乗務員不足
 - 全国的にバス運転手が不足している（大型2種免許の取得者が減少）
会社説明会の開催、テレビCM・新聞折り込み等の情報媒体を活用し要員確保に努めている
- ※ 利用実態に即した、効率の良い再編を進めなければならない状況
本来、必要な幹線路線の維持さえも危ぶまれる

再編の考え方として①

- 起点終点が同一で、経路が異なる路線（系統）を集約し運行本数に厚みを持たせる
⇒ バス停までの移動距離が長くなる利用者もいるが、路線としてのわかりやすさ・便数の増加により利便性の向上に繋がる部分もある



再編の考え方として②

■ 運行間隔の調整

⇒ **例えば5分間隔で運行しているが、利用実態としてそこまで必要とされていない便について
適正な運行間隔・便数に見直す（過剰サービスの是正）**

A路線

〇〇営業所	7:00	7:05	7:10	7:15
□□バス停	7:01	7:06	7:11	7:16
~				
△△駅前	7:30	7:35	7:40	7:50
利用者	7名	5名	8名	6名



A路線

〇〇営業所	7:00	7:10	7:20	7:30
□□バス停	7:01	7:11	7:21	7:31
~				
△△駅前	7:30	7:40	7:50	8:00
利用者	10名	10名	12名	11名

再編の考え方として③

■ 鉄道・コミュニティバス・デマンド交通との路線の棲み分け

- ⇒ 運賃体形や運行目的が異なる交通手段との役割分担を明確にし、
乗継・接続ポイントを整備した上で互いのエリアに干渉しないよう路線構築を図る

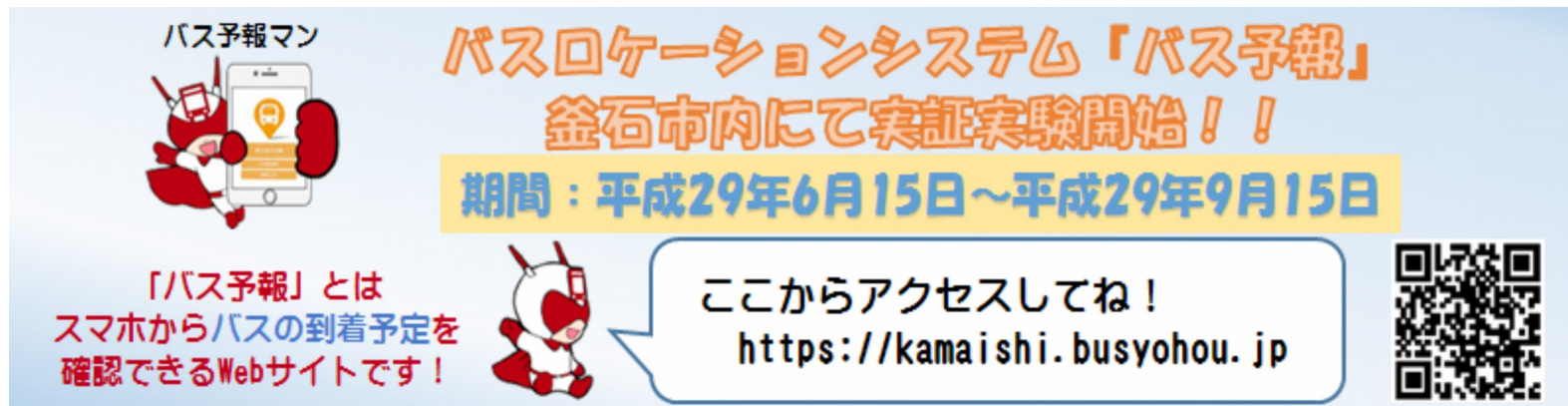
例えば・・・

- ・ 中心地エリアでの重複・競合を接続ポイントを定め、乗継により効率化を図る
- ・ 過疎地域において、中心地エリアまでの交通は路線バス、路線バスにつなぐ
集落からの交通はコミュニティ・デマンド交通・有償運送といった役割分担


※ 乗継・接続ポイントの整備・・・待合施設、時刻の調整、etc

再編に向けて

- 各自治体において「公共交通網形成計画」を策定
関係機関と協力しながら、地域にとってより良い公共交通を構築したい
- バス停表記・路線図といった案内関係の改善も必要と考えており
バスロケーションや路線検索といったシステム導入も徐々に取り入れ「使いやすい・わかりやすいバス」を目指したい




バス予報マン



バスロケーションシステム「バス予報」
釜石市内にて実証実験開始！！

期間：平成29年6月15日～平成29年9月15日

「バス予報」とは
スマホからバスの到着予定を
確認できるWebサイトです！



ここからアクセスしてね！
<https://kamaishi.busyohou.jp>

